

レポートの評価基準の詳細（ルーブリック評価）

	A 十分満足できる	B やや努力が必要である	C かなり努力が必要である
題意把握・内容理解	① レポート課題そのものを理解している。 ② 課題にそって解答がなされている。 ③ 答えるべきことからの内容について正確に理解している。 ④ 専門用語の意味などについて、正確に理解している。	①～④のいずれか2つ以上が満たされている。	①～④のすべてが不十分である。
論理構成・考察力	① レポートが論理的に、わかりやすく展開されている。 ② 自分なりの視点をもって、課題を考察している。 ③ 自分なりの考え方が書かれていて、独創性の芽が感じられる。	①～③のいずれか1つ以上が満たされている。	①～③のすべてが不十分である。
表現・文字の正確さ	① 誤字・脱字がない。 ② 文章の主語・述語が対応している。 ③ 適切な語彙を用いている。	①～③のいずれか1つ以上が満たされている。	①～③のすべてが不十分である。
引用・出典明示	引用・出典が明示され、引用した部分については、「 」でくり、どこから引用したのかを、著者名・『書名』・出版社名・出版年（初版）・引用ページ（引用の場合）を挙げて明示している。	引用・出典が明示されているが、表記方法が誤っている。	引用や参考文献が用いられているにもかかわらず、明示されていない。 ※ 教科書の出典明示を必須とする場合、明記が無ければ当評価となる。
現実との関連づけ	本学の建学の精神である「行学一如」に沿って、学問的な内容を、身近な出来事や職場での問題に関連づけて（事例を挙げる等）まとめている。 ※ 課題により要求されないものもある。	本学の建学の精神である「行学一如」に沿って、学問的な内容を、身近な出来事や職場での問題に関連づけてまとめようとしている努力は伺えるが、内容が不十分である。 ※ 課題により要求されないものもある。	レポート内容が現実検討に値せず、現実との関連づけを行った形跡が見られない。 ※ 課題により要求されないものもある。